

ハイコンセプト・ハイタッチの時代

世界の近代化は農業を主とする一次産業から、機械に駆使されて働く人が中心の産業革命の時代へ、最近では情報力が幅を利かせた人の頭脳に取って代わるIT時代へと移り、今まさに地球のいたる所で人の力は発展途上国に、情報処理はインドに依存してしまった。日本が世界に伍して活躍するには新しいコンセプト（概念）が必要である。

ルーチンワークがコンピュータに取って代わり、業務が機械化されている今日、私共は決まった解決策が存在しない新しい問題解決法や複雑なコミュニケーションを熟^{こな}していく人間だけが持つ技能というハイコンセプト（ハイタッチ）を身に付ける必要がある。

ボーリングのストライクにハイタッチで迎える瞬間、そこには何の説明も説得も必要ありません。次代を担うハイタッチ、ハイコンセプトの時代の到来は私共医療に携わる者にとって何と似つかわしいコンセプトではないでしょうか。

まずはこれから求められるニューコンセプト時代の六つの感性（参考書）によって、あなたのこれからの道をひらいてください。いずれの概念もこれまで皆様にお伝えしてきた、どこにでもあるものばかりです。

参考書：ハイコンセプト、「新しいこと」を考え出す人の時代

ダニエル・ピンク 著 大前 研一 訳

三笠書房，2011，東京

（新王子病院4階ロビー 私の書棚 今月）

平成26年7月16日

理事長 市丸 喜一郎